

外国語活動学習指導案

単元名 「Where is the treasure?」

平成30年2月21日(木) 第4校時 5松教室
5年松組 指導者

ALT

I 授業改善の視点

実際にものを動かしながら発音練習をすることや、ものの位置についての会話を段階を踏みながら繰り返し行うことで、新しく学習する位置を表す前置詞がより深く身につくだろう。

II 本時の学習 2/4

<ねらい>

- 前置詞 (in, on, under, by) を使用してものの位置を答える言い方が分かる。

学習活動	指導上の留意点
<p>1 Greeting (2分)</p> <p>2 Practice words (3分)</p> <p>3 Class review (5分) 前時の学習を振り返る。</p> <p>T : Where is the pencil? S : It's on the desk.</p>	<ul style="list-style-type: none"> 毎時間のあいさつでは、英語学習の雰囲気づくりや既習事項の定着を図る。 ジェスチャーを取り入れて会話をするので児童が会話の内容を理解できるように配慮する。 復習では、前時に学習した前置詞を想起させ、めあてを引き出すよう会話をする。
<p><めあて> 下やとなりにあるものの位置を言うにはどのように言えばよいだろう。</p>	
<p>4 under, by の言い方に気付く (5分) ALT の言葉に耳を傾け、言い方に気付かせる。</p> <p>T : マット先生はどう言っていたかな? S : under, by と言っていました。</p> <p>5 practice conversation (10分) S : 会話の練習をしながら自分の鉛筆を移動させる。 ①ALT との反復練習 ②ALT 対子どもとの会話練習 ③となりの席同士で会話練習</p> <p>6 Activity (15分) 4～5人のグループで前置詞ゲームをする。 T and ALT : デモンストレーションをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ALT の言葉を注意深く聞かせ、話す速さを変えて聞かせることで多くの児童が前置詞に気付けるようにする。 反復練習、ALT との対話、児童同士の順で段階を踏んで繰り返し会話練習をし、学習した表現を定着させる。 指導者は英語の発音に不安が見られる児童に個別で指導をし、自信をもたせる。 子供同士で聞き合う活動では、うまく話すことができない児童に対し、一緒に言うなどの支援をする。 ゲーム説明では、児童が理解できるようデモンストレーションを行う。
<p>7 Class review (5分) 本時の学習内容を振り返る。 T : Where is the pencil ? S : It's under the desk.</p> <p><まとめ> 下にあるものは under、隣にあるものは by を使うと言える。</p> <p>8 本時の活動を振り返る</p> <p><ふりかえり> ものの置いてある位置について友達と話すことができましたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 前置詞について改めて確認し、復唱する。 本時の学習を見直し、本時の学習内容を振り返る。 <p>【評価方法】知識・理解(観察) ものがどこにあるか正しい前置詞を使用してものの位置を伝える言い方が分かる。</p>

III 板書計画

めあて 下やとなりにあるものの位置を言うにはどのように言えばよいだろう。	もののフラッシュカードを貼る	February 21th Thursday ★
<p>Where is the _____ ? in on</p> <p>It's _____ the _____.</p> <p>under by</p>		
まとめ 下にあるものは under、となりにあるものは by を使えば言える。		